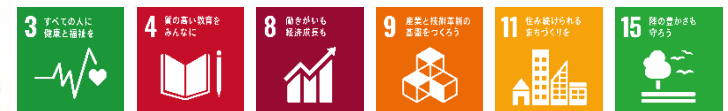




農商工福連携による誰ひとり取り残さない居場所創り ココトモファームが取り組む農福連携×6次産業



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

自己紹介



名前：齋藤秀一（さいとうしゅういち）

年齢：54歳（1970年3月1日生）

出身：愛知県西尾市

学歴：一色高等学校 普通科卒

特性：ADHD（49歳で診断）

家族：弟（統合失調症）

：義妹（双極性障がい）、義妹（知的障がい）

：長女（ADHD、双極性障がい）

所属：株式会社ネットアーツ 代表取締役

：株式会社コトモファーム 代表取締役



施設運営業務、請求業務の事務作業の時間短縮とミス防止を図るだけでなく、保護者との連携機能や児童成長管理機能なども備えてシステム化。
またオンラインセミナーや施設運営に必要な情報等の配信機能も備え、障がい福祉事業所の施設運営をDX化でサポート。

全国**47**都道府県 **6000**を超える
放課後等デイサービス・児童発達支援事業所に導入

▼ホームページもご参照ください

<https://www.hug-srss.com/>

第5回あいちサービス大賞 審査員長賞受賞



株式会社ココトモファーム



- 愛知県犬山市の農業法人
- 米の生産、販売
- 自家製米粉100%グルテンフリーのバウムクーヘン製造、販売
- 愛知、兵庫、山梨で18店舗展開



**ディスカバリー農林漁村（むら）の宝 第9回選定
総理大臣官邸での選定証授与式および交流会**



**ノウフク・アワード2022
フレッシュ賞受賞**

全国ご当地バウムクーヘンの2023年ファイナルグランプリで、「誰ひとり取り残さない居場所を創る」コトモファームのハードバウム玄米が、全国トップ3に選出

株式会社コトモファーム 2024年2月17日 23時41分



株式会社コトモファーム（愛知県犬山市、代表取締役：齋藤秀一）が製造販売する自家製米粉100%グルテンフリーのバウムクーヘン「ハードバウム玄米」が、「ファイナルクーヘン総選挙2023東京頂上決戦」（主催：バウムクーヘン博覧会実行委員会）にて、初出場で総合部門の第3位に選出されました。

株式会社コトモファームは「ココでトモだちになろう」をテーマに、農業・商業・工業・福祉を連携させ、生産から販売までの一貫したもののづくりを通して、障がいがある人もない人も一緒に働ける居場所創りに取り組んでいます。



2024春フレイバー党
贅沢バウム ウィングいちご



2023ハード党
ハードバウム玄米



COCOTOMO FARM ハードバウム 玄米

ファイナルクーヘン総選挙 2023 東京頂上決戦

★米粉で作ったバウムクーヘンとしては全国最多得票！



ハードバウム玄米

バウムクーヘン博覧会
ファイナルクーヘン選手権とは

2021年3月より「コロナ禍でも、会場に行かなくても楽しめるイベントを！」という想いから始まった「ファイナルクーヘン総選挙」。小さなお子様からお年寄りまで、全国のバウムクーヘンファンがお気に入りのバウムクーヘンに投票しご当地バウムの頂点を決定します。
「ファイナルクーヘン総選挙 2023 東京頂上決戦」では、全国36のご当地ブランドが選りすぐりのバウムクーヘンを持ち寄り総選挙に立候補しました。バウムクーヘン博覧会の会場内での投票のほか、バーチャル会場、Instagramといったオンライン投票も同時開催。全国各地のバウムクーヘンファンが選んだ、総投票数10,718票からランキングが決定しました。

障がい福祉施設との連携で『農業』と『福祉』をつなげる



愛知県犬山市の自然豊かな田んぼでとれたお米が、バウムクーヘンの原料です。

お米の6次産業による居場所創り



就労移行支援・
就労継続支援B型事業所

COCOTOMO
Works
ワークス

アウトドア型

放課後等デイサービス

COCOTOMO
Works
ワークス ジュニア

障がい福祉事業による居場所創り

グループ関連図

誰ひとり取り残さない居場所を創る



間接支援



子ども

直接支援



就労継続支援B型事業所
COCOTOMO
Works
ワークス

就労移行支援・
就労継続支援B型事業所



COCOTOMO FARM
ココトモファーム



一般就労

大人

ココトモファームを創業した理由

放課後等デイサービスココトモ（障害児通所支援事業）



2015年 愛知県西尾市で
放課後等デイサービス ココトモ
を立ち上げる



障がいのある子どもたちの
自立訓練をするための施設



各施設ごとに異なる障がい課題に合わせたテーマの施設展開



**ココトモビレッジ
桜校**
生活単元型



**ココトモビレッジ
楓校**
発達支援型



**ココトモ スタディ
西尾駅前校
桜町前校**
学習療育型



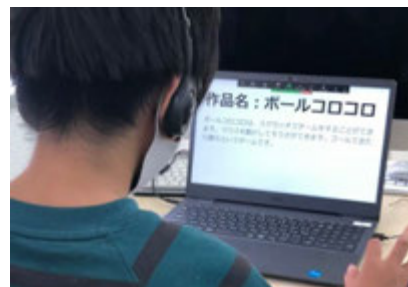
ココトモ西尾寄住校
社会生活訓練型



ココトモ西尾住崎校
運動療育型



**ココトモステップ
西尾徳次校**
ワーキングスキル
トレーニング型



**ココトモステップ
mirai校**
ライフスキル
トレーニング型

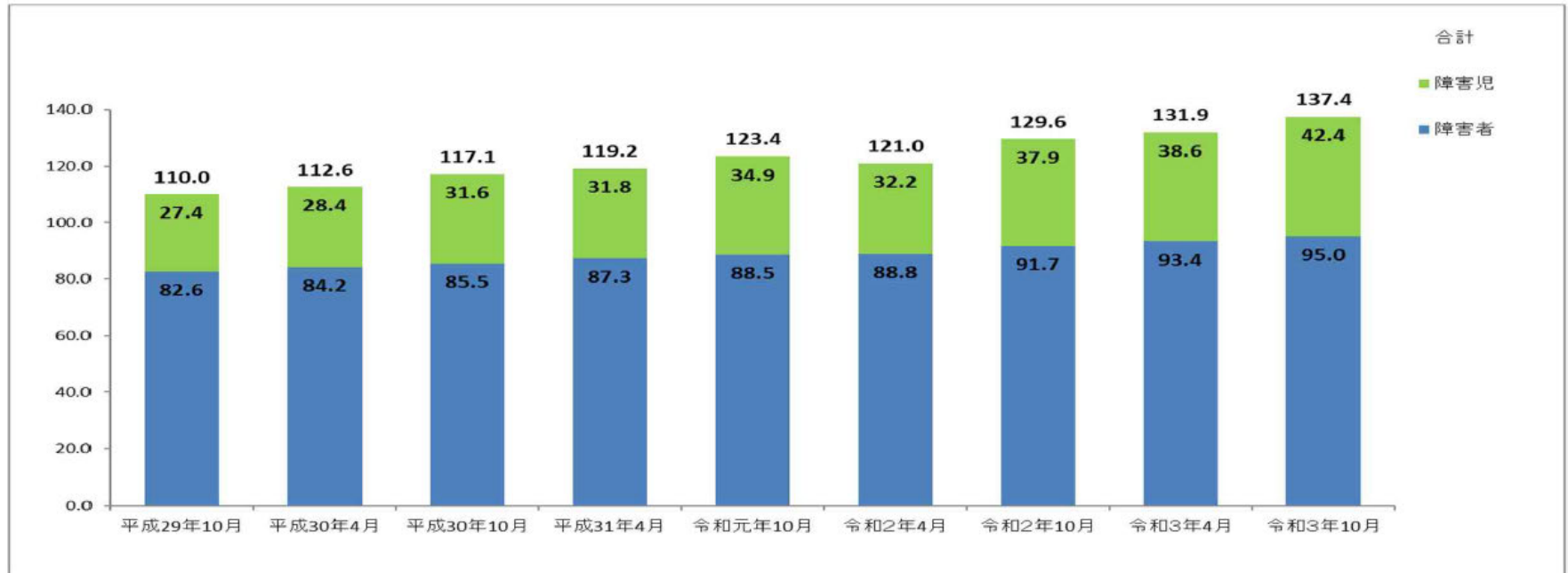


manabu高等学院
通信制高校

社会での居場所の問題

利用者数の推移(6ヶ月毎の利用者数推移)(障害福祉サービスと障害児サービス)

(単位:万人)



○令和2年10月→令和3年10月の伸び率(年率)..... 6.0%

出典：厚生労働省（障害福祉サービス等の利用状況）

文部科学省は2022年12月13日、通常の学級に在籍する**小中学生の8.8%**に学習や行動に困難のある発達障害の可能性があるという調査結果を発表

子どもたちのためにどんな未来が創れるのか...

きっかけは農福連携推進フォーラムへの参加



農林水産省
Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries



ひと、暮らし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health Labour and Welfare

農福連携推進フォーラム

ノウ フク

農業と福祉がつながって、日本を元気に！

運営事務局：一般財団法人 地方自治体公民連携研究財団

農業と福祉を連携させて
居場所をつくる！

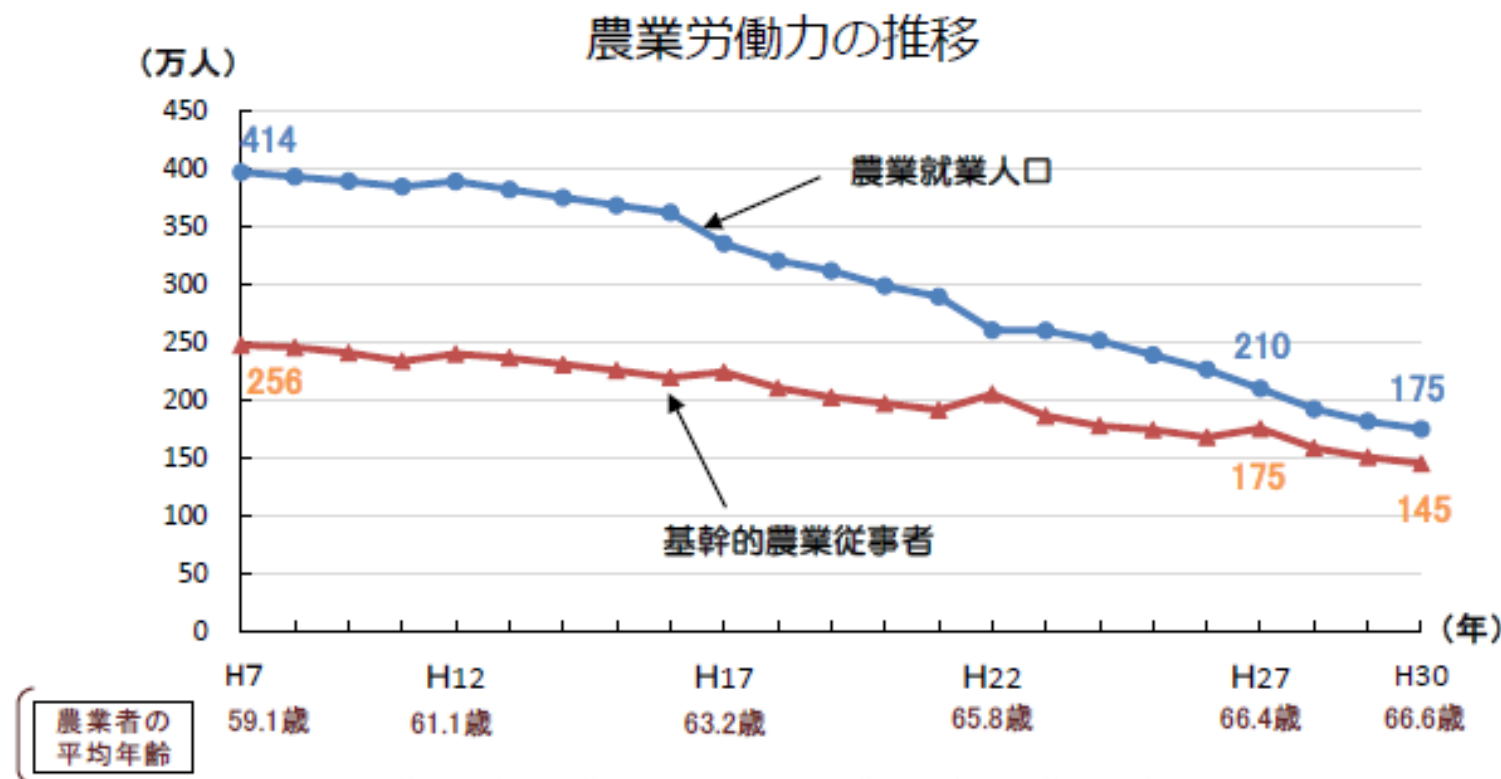


なぜ農福連携なのか？

🌱 農業における課題 🍆

- ・ 農業者は高齢化。また、農業者数や耕地面積の減少が課題。

○ 農業者の平均年齢は67歳。農業者の減少は止まらず。



出典：農林水産省「農林業センサス」、農林水産省「農業構造動態調査」

農福連携の取り組み方針と目指す方向

○ 農福連携とは、障害者等の農業分野での活躍を通じて、自信や生きがいを創出し、社会参画を促す取組であり、農林水産省では、厚生労働省と連携して、「農業・農村における課題」、「福祉（障害者等）における課題」、双方の課題解決と利益（メリット）があるWin-Winの取組である農福連携を推進。

「農」と福祉の連携（＝農福連携）

【農業・農村の課題】

- ・農業労働力の確保
※毎年、新規就農者の2倍の農業従事者が減少
- ・荒廃農地の解消 等
※再生利用可能な荒廃農地は全国で約9万ha

【福祉（障害者等）の課題】

- ・障害者等の就労先の確保
※障害者約965万人のうち雇用施策対象となるのは約377万人、うち雇用（就労）しているのは約100万人
- ・工賃の引き上げ 等

障害者等が持てる能力を発揮し、それぞれの特性を活かした農業生産活動に参画

【農業・農村のメリット】

- ・農業労働力の確保
- ・農地の維持・拡大
- ・荒廃農地の防止
- ・地域コミュニティの維持 等



労働力の確保

【福祉（障害者等）のメリット】

- ・障害者等の雇用の場の確保
- ・賃金（工賃）向上
- ・生きがい、リハビリ
- ・一般就労のための訓練 等



新たな就労の場の確保

目指す方向

1 農業生産における障害者等の活躍の場の拡大

障害者等の雇用・就労の場の拡大を通じた農業生産の拡大。



2 農産物等の付加価値の向上

障害の特性に応じた分業体制や、丁寧な作業等の特長を活かした良質な農産物の生産とブランド化の推進。



3 農業を通じた障害者の自立支援

障害者の農業への取組による社会参加意識の向上と工賃（賃金）の上昇を通じた障害者の自立を支援。



「農福連携型」施設に取り組んだ当初の問題点

- ・ 農作物の栽培に人手がかかる（職員の負担増）
- ・ 農作物を栽培しても収益性が低く採算が合わない（施設の経費増）
- ・ 将来的に農業で働きたいというニーズが無かった（就労準備型の方が人気）

担い手が不足する農業と障がい者雇用をつなげることが**困難**だった

農
業

商
業

工
業

福
祉

ココトモファームの就農・就労イメージ

農産物の6次産業化による
多様性のある雇用の創出



3次産業（商業）



米粉のバウムクーヘン



生米粉

2次産業（工業）

障がい者にとって農業の意味するところ

【障がい特性と農作業の関係】

- ・身体障害 判断能力は高く、作業管理で能力を発揮する
- ・知的障害 体力を必要とする作業を行える、単純な作業でも集中力を持続できる
- ・精神障害 精神面のプラスになる、判断能力は高い
- ・発達障害 こだわりを活かした点検、細かい作業が得意な人もいる



1次産業（農業）

一人ひとりの障がい特性に合わせた未来を創る

1次産業（農業） 米の生産・農業体験



愛知県犬山市に 約36,000坪の田んぼ



農業用ドローン



農業体験

1次産業（農業） ココトモノ森 -アウトドア体験拠点-



約2,000坪のキャンプ場



桜の植樹イベント



作業風景

2次産業（工業） コトモバウム

低温貯蔵により新鮮な状態で保存した犬山産のお米を自家製粉し、100%米粉のグルテンフリーバウムを焼成。
水分を含んだ日持ちのしない米粉「生米粉」を挽きたての状態で使う事で、しっとり・もちりの食感を楽しめるバウムクーヘンにします。



玄米・白米のバウムクーヘン



3次産業（商業） コトモファーム犬山城下町プラザ店

犬山市シルバー人材センターとのコラボレーションによる、老人福祉×農業の農福連携店舗



お米農家を作る美味しい
犬山産のお米を使用した
米粉100%のバウムクーヘン

地域外農福商工連携 農福連携全国フォーラム2023inぎふ

岐阜県の中電ウイング&愛知県のココトモファームのコラボレーションによる農福商工連携



ココでトモだちになろう



COCOTOMO FARM

障がい福祉施設との連携で『農業』と『福祉』をつなげる

自家製米粉100%
グルテンフリーのパウムクーヘン



COCOTOMO BAUM

2023年9月 就労継続支援B型事業所ココトモワークスを開所



愛知県犬山市の自然豊かな田んぼでとれたお米が、バウムクーヘンの原料です。

お米の6次産業による居場所創り



就労移行支援・
就労継続支援B型事業所

COCOTOMO
works
ワークス

アウトドア型

放課後等デイサービス

COCOTOMO
works
ワークス

ジュニア

障がい福祉事業による居場所創り

就労継続支援B型事業所とは

就労支援施策の対象となる障害者数／地域の流れ

障害者総数 **約964万人** 中、18歳～64歳の在宅者数 **約377万人**

(内訳: 身体101.3万人、知的58.0万人、精神217.2万人)

一般就労への
移行の現状

- ① 特別支援学校から一般企業への就職が **約32.0%** 就労系障害福祉サービスの利用が **約31.4%**
- ② 就労系障害福祉サービスから一般企業への就職は、年々増加し、**令和2年は約2.2万人**が一般就労への移行を実現

大学
専修学校
の進学等

障害福祉サービス

- ・就労移行支援 約 3.4万人
 - ・就労継続支援A型 約 7.2万人
 - ・就労継続支援B型 約26.9万人
- (令和2年3月)

就労継続支援B型が72%

就労系障害福祉サービス
から一般就労への移行

1,288人/ H15	1.0
2,460人/ H18	1.9 倍
3,293人/ H21	2.6 倍
4,403人/ H22	3.4 倍
5,675人/ H23	4.4 倍
7,717人/ H24	6.0 倍
10,001人/ H25	7.8 倍
10,920人/ H26	8.5 倍
11,928人/ H27	9.3 倍
13,517人/ H28	10.5倍
14,845人/ H29	11.5倍
19,963人/ H30	15.5倍
21,919人/ R1	17.0倍

就職

企業等

雇用者数

約57.8万人
(令和2年6月1日)
* 45.5人以上企業

ハローワークからの
紹介就職件数

103,163件
※A型: 19,388件
(令和元年度)

就職 **7,204人/年**

13,269人/年
(うち就労系障害福祉サービス **7,075人**)

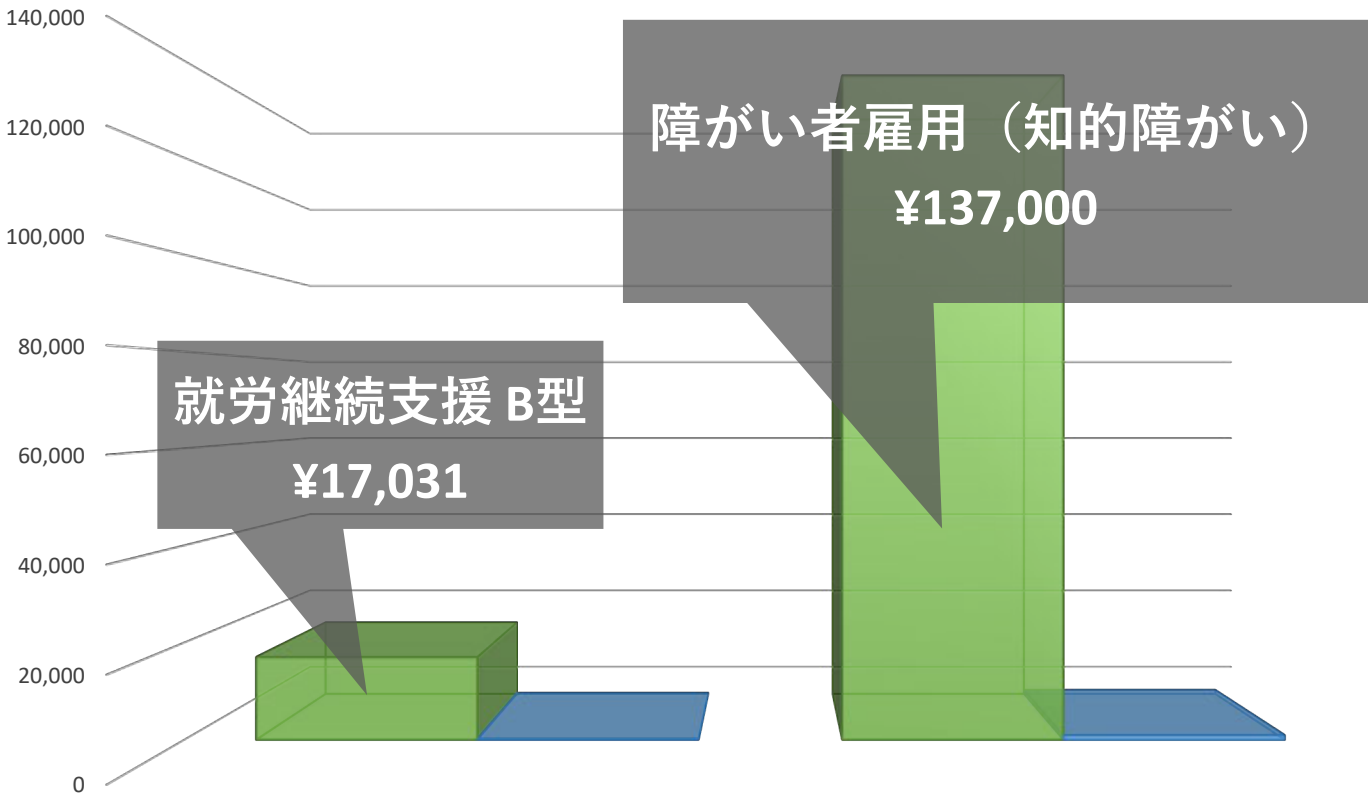
特別支援学校

卒業生22,515人(令和2年3月卒)

714人/年

就労継続支援B型事業所の課題

令和4年度 全国工賃平均 ※一般就労（障がい者雇用）は平成30年度の実績



	就労継続支援 B型	障がい者雇用（知的障がい）
月額	17,031	137,000
時間額	243	950

出典：厚生労働省（令和4年度工賃（賃金）の実績について）

就労継続支援B型事業所の工賃は一般就労のわずか12%程度



障がいのある方の療育・就労支援で
誰ひとり取り残さない
居場所創りへ



就労移行支援・就労継続支援B型事業所



COCOTOMO
Works
ワークス

アウトドア型

放課後等デイサービス

COCOTOMO
Works
ワークス **ジュニア**

自然体験活動 × 感覚統合療育

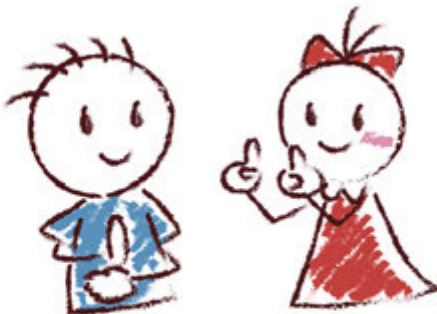


一人ひとりの個性や長所を伸ばすための3つのステップ



1. 位置づけ

「あなたがいてよかった」
「あなたの役割は〇〇係」
「あなたがいなくて困った」
「あなたを生んでよかった」



2. 価値づけ

「あなたのよさは〇〇」
「～できるのはあなただけ」
「続けてきた成果が出たね」
「考えてやるといいね」



3. 方向づけ

「次は～するといいよ」
「～な姿も見たいな」
「あなたなら～もできるよ」
「次は何を工夫しますか」

一番大切なのは居場所づくり

人に必要にされること、人の役に立つこと、人に褒められること、人から愛されること

利用者への支援内容

利用者への支援内容

色々な経験・体験が人を育てる！

様々な関わりをつくりながら「繋ぐ」

「仕事」で繋ぐ

「地域」と繋ぐ

「なかま」と繋ぐ



事業内容

1日の流れ

カフェ業務	試食作り	ラベル貼	箱折り	催事
自動販売機	農作業	納品業務	パンフ組	催事準備

	月	火	水	木	金	土	日
9:30	送迎・日報	送迎・日報	送迎・日報	送迎・日報	送迎・日報	送迎・日報	送迎・日報
10:00	朝礼・ラジオ体操	朝礼・ラジオ体操	朝礼・ラジオ体操	朝礼・ラジオ体操	朝礼・ラジオ体操	朝礼・ラジオ体操	朝礼・ラジオ体操
10:15	箱折り カフェ在庫・発注	箱折り	自動販売機パック詰め	農作業座学	商品梱包	催事	催事
11:00	箱折り	箱折り	配送・箱折り	農作業座学	商品梱包	催事	催事
12:00	休憩（食事提供・送迎）	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩
13:00	試食づくり	試食づくり	催事模擬練習準備	農作業	催事最終確認	催事	催事
14:00	試食づくり	試食づくり	催事模擬練習	農作業	催事最終確認	催事	催事
15:00	試食づくり片付け	試食づくり片付け	催事模擬練習片付け	農作業片付け	催事最終確認	催事片付け	催事片付け
15:45	清掃・報告書作成・終礼	清掃・報告書作成・終礼	清掃・報告書作成・終礼	清掃・報告書作成・終礼	清掃・報告書作成・終礼	清掃・報告書作成・終礼	清掃・報告書作成・終礼
16:00	送迎	送迎	送迎	送迎	送迎	送迎	送迎

事業内容

生産活動について

一人ひとりの得意を見つける「居場所」創り

軽作業

試食作り

ラベル貼

箱折り

パンフ組



事業内容

生産活動について

協力して利用者様同士の繋がり・助け合い

「模擬店」準備

試食作り

箱折り

のし折

商品梱包

催事準備



事業内容

生産活動について

仕事で地域と繋がる「居場所」創り

催事出店

試食配り

商品補充

商品説明

梱包

商品渡し



ココトモワークスの平均工賃は7万3千円（2023年度実績）

事業内容

生産活動について

仕事で地域と繋がる「居場所」創り

自動販売機運営

商品補充

梱包

冷凍自販機の商品補充による無人販売



事業内容

生産活動について

仕事で地域と繋がる「居場所」創り

カフェ運営

開店・閉店対応

在庫拾い

ドリンク

ライスバーガー

清掃

接客販売の経験・地域とのつながりの場、施設外へのステップアップにも



事業内容

生産活動について

仕事で地域と繋がる「居場所」創り

施設外就労

開店・閉店対応

在庫拾い

ドリンク

ライスバーガー

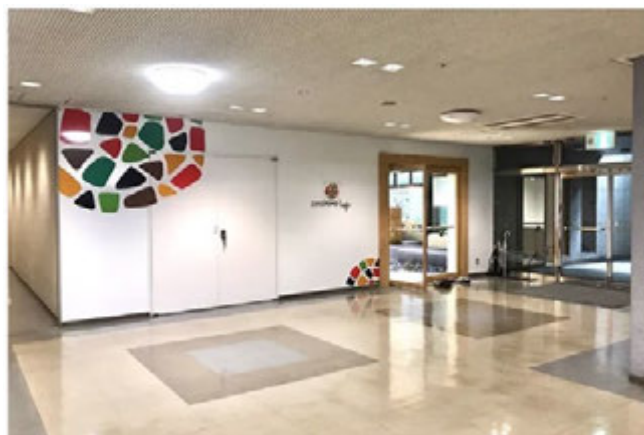
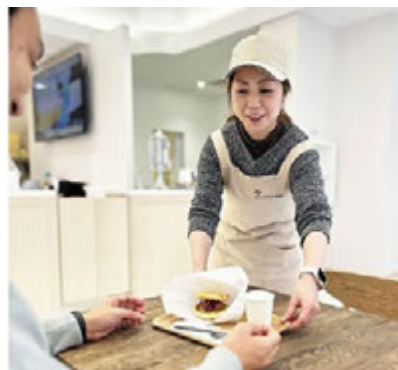
清掃

餅製造

接客・ホール

厨房

利用者様のさらなるステップアップの場として施設外就労「コトモカフェフロイデ店」



事業内容

生産活動について

仕事で地域と繋がる「居場所」創り

農作業

農作業

準備・片付け

調理



自然とコミュニケーションが生まれ、やりがいや利用者様同士のつながり、
ココトモファーム農業スタッフとのつながりも

事業内容

生産活動について

仕事で地域と繋がる「居場所」創り

農作業

農作業

準備・片付け

調理



ココトモファームの農業スタッフ
と一緒に農業を学んだり
外部企業様と一緒にこなったお
米の収穫作業を通して地域とつな
がっています



事業内容

生産活動について

仕事で地域と繋がる「居場所」創り

農作業

農作業

準備・片付け

調理



自分たちでつくる野菜を意見出し、

調べながら計画を立てて

種の購入から栽培していきます。

たまねぎ・大根・ズッキーニ・白菜などをつ

くって漬物や豚汁を作ったりしました。

将来的にはマルシェやライスバーガーの具材

にしたりワークスジュニアとも合同で農作業

イベントとして仕事や地域とのつながりを。

事業内容

生産活動について

ヤギのお世話



事業内容

生産活動について

イベントで利用者様同士と繋がる「居場所」創り

農業を通じた交流イベント



事業内容

生産活動について

地域連携

秋祭りへ参加し、神輿参加の子どもたちへ
試食のプレゼント渡し

仕事で地域と繋がる「居場所」創り



事業内容

生産活動について

外部の方と利用者様の繋がり・自信に繋げる

ココトモワークス見学ツアー

就労移行支援の利用者様による作業説明



事業内容

生産活動について

利用者様のご家族とも繋ぐ「居場所」創り

保護者様・インターン生 からの感謝の手紙

一人ひとり活動を通して
やりがいや自信、誇り
協力や感謝しあえる
そんな「居場所創り」を
大切に支援しております。

斎藤 社長様

暦も立春が過ぎ、あたたかな日差しが感じれる
頃となりました。

はじめまして、コトモワークスでお世話になっている
へ母でございます。平素は、息子が大変
お世話になりありがとうございます。

息子は松島様はじめスタッフの皆様のおかげで
お人柄にふれ、本当に助けて頂いていると家へ帰るたび
に申しており、大変感謝しております。皆様と関わる
事で、気持ちも明るく前向きになっているようで私も
本当に安心しております。ありがとうございます。

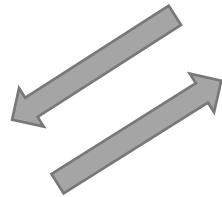
社長様はじめ皆様方から頂くあたたかな言葉のフ
ーフが息子にとっては宝物のようで、本当に有難い
有難いと私に伝えてくれます。仕事にも少しずつ
慣れてきて、「自分でできる事を心も込めてやりたい」と
仕事に打ち込み前向きになっていることも、本当にうれ
しい限りです。ありがとうございます。

今、私にできる事は、息子の気持ちに寄り添って
見守っていく事だと思っております。皆様のお力と
お借りして、息子共々進んでまいりたいと思います。

農福連携への取り組みが地域創生につながる

児童発達支援・放課後等デイサービス
就労継続支援B型事業所
障がい者グループホーム

施設外就労による作業の提供
就農者の確保

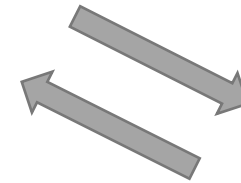


農作業



農家

子どもたちとの交流



農育・食育
農業体験



・就労継続支援B型事業所

農業スキルの
取得



空家活用

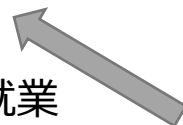


・障がい者グループホーム
自立支援をするための居場所

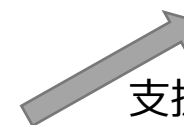


・児童発達支援
・放課後等デイサービス

就業



支援



最後に

ココでトモだちになろう



いろいろな色
いろいろな大きさ
いろいろなカタチ

人と違うことは素晴らしい
違っていいからこそお互いを支え合える